



## 理事長挨拶

理事長 森島 朋三

### 就任にあたって

この度、大阪初芝学園理事長に就任いたしました。日頃よりご支援ご協力いただきありがとうございます。本学園の生徒・児童・園児の未来に向けて教育と学校運営に邁進いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

大阪初芝学園は、それぞれに特色ある教育を実践する3つの中学校・高等学校と小学校、そして幼稚園とスイミングスクールを擁する総合学園です。この学園を構成する学校毎にふさわしい発展を学校法人立命館とともに切り拓いていくこと、それが両学園の理事長である私に課せられた責務であります。

### 初芝と立命館、結ぶものとしての紐帯

7月に立命館理事長、9月に大阪初芝学園理事長に選任されるなかで、考えたことがあります。初芝と立命館は、高校と大学の教育接続において提携しつつも独立した学校法人です。この関係性をどう捉えるのか。浮かんできた言葉が「紐帯」です。昔日の学生時代を思い出し、その定義や社会学的考察に関する文献にも少し目を通しました。そこには、「二つのものを結びつけて、つながりを持たせる、大切なもの」とあり、アメリカの社会学者グラノヴェッターは「弱い紐帯の強み」理論を唱えています。新規性の高い価値

ある情報は、自分の家族や親友、職場の仲間といった社会的つながりが強い人々（強い紐帯）よりも、知り合いの知り合い、ちょうどした知り合いなど社会的つながりが弱い人々（弱い紐帯）からもたらされる可能性が高い。「弱い紐帯」は「強い紐帯」同士をつなぐブリッジとして機能する。

初芝と立命館は、高等学校・中学校・小学校の初等中等教育において共通する教育分野を担っています。しかし、規模や立地は異なります。そして、立命館は大学・大学院の高等教育分野を、大阪初芝学園は幼児教育とスイミングスクールで社会教育を担っています。お互いが担う教育分野の拡がりをあらためて認識し、それを包摂する教育の営為が大切だと思います。あわせて、「強い紐帯」と「弱い紐帯」の強み、それらが、両学園に求められる教育改革と学校組織のイノベーションの方向を探る「環（ないし）肝」ではないかと思うのです。

### 予測困難な時代を生きる生徒・児童・園児のために

今、グローバル世界と言われ、これまでの経験や想像を超えるニュースに驚かされる毎日です。日本では人口減少社会への対策が喫緊の課題です。AI（人工知能）やICT（情報通信技術）の進化は、こうした課題を解決に導くことが期待されますが、それが人や社会にどのような影響を与えるかは未知数です。

今、目の当たりにする生徒・児童・園児たちが、将来、どのような社会に生き、何の仕事で職業生活を送ることができるのか、これまで教育現場で語られてきた人材育成やキャリアデザインの考え方が通用しない分野や世界が拡がりつつあります。そのよ

うな変化・変容する予測困難な時代に、私たちは世界で活躍する人材をどのように育成していくかという「問い」に、向き合い、「解」を見出すことが求められています。実に難しい問題です。しかし、教育機関は、その重要な社会的責任を負託されていることを自覚する必要があると思います。

### 地域と協働し、地域に支えられる学園

大阪初芝学園は、「2023基本構想」を策定しました。そこでは、学園理念である「夢と高い志、挑戦、そして未来創造」を堅持し、学園の持続的発展を推進することを決意しました。その実現に向けて、各学園を個性豊かにするために、さらに磨き続けていく努力が欠かせません。

本学園の個性に目を向けた場合、堺・富田林・橋本という、大阪南部から和歌山県北部地域に立地する状況により目を向けていくことが必要であると捉えています。地域の発展が学園・学校の発展に繋がる時代です。グローバルかつローカルな視点を持って課題解決に取り組むことが、新たな教育改革の種を蒔き、花開かせる「道」だと確信します。地域と協働し、地域に支えられる学園でありたいと思います。

激変する世界情勢のなか、世界に通用し、地域に貢献する力をどう育んでいくのか、大変困難なテーマであります。しかし、生徒・児童・園児の未来のため、保護者や地域のみならず共に、教職員一同着実に歩みを進めてまいります。今後とも本学園へのご支援を、よろしくお願いいたします。



### 森島 朋三 (もりしま ともみ) プロフィール

- 1961年2月 大阪府生まれ 小学校・中学校を大阪府と三重県にて過ごす 三重県立名張桔梗丘高等学校卒業
- 1986年3月 立命館大学産業社会学部卒業
- 1994年4月 京都・大学センター勤務(1998年～財団法人大学コンソーシアム京都となる)
- 1996年4月 学校法人立命館事務職員に採用され、京都・大学センター出向となる  
「京都学生祭典」の企画・開催等を推進し、「京都・大学センター」から「大学コンソーシアム京都」への発展に寄与
- 2001年4月～2004年3月 財団法人大学コンソーシアム京都事務局長
- 1997年4月～2005年2月 学校法人立命館総務部付課長、総務部次長、総長・理事長室副室長等歴任
- 2005年3月～2008年2月 学校法人立命館総務部長
- 2007年2月～2013年3月 学校法人立命館常務理事(総務担当)  
立命館大学大阪いばらきキャンパス(OIC)開設を長田前理事長とともに推進  
OIC(2015年開設)は、立命館の発展を象徴するとともに、大阪初芝学園との絆を一段と強めた
- 2013年3月～2017年7月 学校法人立命館専務理事
- 2017年7月～ 学校法人立命館理事長
- 2017年9月～ 学校法人大阪初芝学園理事長

# り、生きる力を育む。

「通テスト」導入などの教育改革を見据え、学んだ知識を社会と共有・連携する取り組みをおこない、各校の社会・地域と連携した様々な取り組みをご紹介します。

## 初芝富田林中学校高等学校

### 自ら未来を切り拓く 生徒を育てる

本校では、社会や地域に関心を持ち、主体的に課題に取り組む「社会に開かれた教育」を実践しています。

現在の中学3年生は、1年次に「自分の意見を伝え、相手の意見を聞くこと」を主題とし、ディベート、デイスカッションなどの手法を学びました。朝日新聞社の協力も得て、大阪府知事選挙の候補者のマニフェストの検討や18歳選挙権についてディベートを行いました。

2年次では「職業研究」をテーマに、企業インターンシップを体験する「クエストエデュケーション」に参加しました。生徒がインターンを希望する企業について、各企業の課題を解決する企画を考え、保護者や企業の方を迎えての中間発表を授業参観で行いました。最終的には「富士通」のプレゼンテーションをしたチームが全国大会に出場しました。

3年次ではさらに、「人の役に立つ実感を持ち、必要な知識・技能、表現力を身につけること」を目標として、「学校CM作り」にチャレンジしています。劇団の方々から演劇や絵コンテ、演出などを、映像会社の方から動画の撮影方法、編集の指導をいただいています。

また、現在の中学2年生は、着なくなくなった子ども服を回収し、難民キャンプなどに寄贈する、「ユニコロ」の「届けよう、服のチカラプロジェクト」に参加しています。1学期にユニコロ富田林エコーロゼ店の方から出張授業を受け、11月には地域の小学校などに協力を依頼し、子ども服を集める活動を行います。

これらの取り組みを通して、今までとは違う資質・能力やコミュニケーション力を持った生徒が育つ確かな感触を得ています。今後は、学校全体で取り組む「クエストエデュケーション」や、高校での「探究」の授業で、これまでの体験を活かし、深めていきます。



教頭 仲 埜 寿 樹



企業インターンシップ「クエストカップ」全国大会プレゼンテーション



「クエストエデュケーション」企画会議（ブレインストーミング）

## はつしば学園小学校

### フィールドワークを 通して地域とつながる



「狭山池アートプロジェクト、狭山池をカラフルにしちゃおう」カラーストローと針金を使って、水庭階段を変化させました。

本校では、子どもたちが知識の習得にとどまらず、自ら学ぶ力を身に付け、生きる力を高めることを願い、地域理解を進める活動に力を入れてまいりました。

学校の近隣には日本最古のダム式のたぬ池である狭山池ダムがあり、水環境学習や地域学習の場として狭山池、狭山池副池、狭山池博物館を積極的に活用しています。地域の特色を生かした学習を実践することで、子どもたちが自然や文化、歴史などに興味を持ち、地域に親しみを覚えるようにしたいと考えています。

各学年や各教科で狭山池に出かけ、季節や生き物をテーマに観察したり、高学年では水質や環境、歴史などの調査を行いました。また、図工では「狭山池アートプロジェクト」や、狭山池博物館主催の写生会に参加して、コンクールで多数入賞を果たしています。



「サイエンス教室」狭山池の水質を調査しました。

その他、サイエンス教室「狭山池の水質調査とフランクトン観察」や河川財団助成事業に取り組み、河川学習「狭山池ダムを核とした学校と地域との絆プロジェクト」を目標に、生物学的・化学的側面より河川学習を進め、小学生の取り組みではありますが、水環境調査の実施や都市型ダムの持つ水質浄化機構の解明など、本格的なテーマに取り組んでいます。

子どもたちが、自然や科学の事象に心ひかれて探究を深めようとするとき、「科学する心」（想像する心、感動する心、好奇心、人や自然を大切にしている心、やりとげる心）が生まれ育ちます。本校では体験的学習を通して探究心を育み、社会性・協調性を身に付け、心豊かな子どもたちを育成します。

今後も地域社会に根差した活動を通して、個性豊かな郷土愛に満ちた社会に貢献できる子どもを育て、「時代が必要とする学び」に取り組んでまいります。



教頭 西 依 恵 一 郎

# 社会・地域とつなが

大阪初芝学園では、2020年に小学校から始まる「新学習指導要領」の全面実施や「大学入学共通子どもたちが未来社会を切り開く力を育んでいます。ここでは、

## 初芝立命館中学校高等学校

### Think Globally, Act Locally



副校長 中村勝義

本校では次期学習指導要領の趣旨を踏まえつつ、時代を見据えた教育を創造していかなければならないと考え、地域や社会との繋がりを大切にして、授業改善や種々のプログラムを実行しています。それらのプログラムにより、生徒ばかりでなく教員も学校も成長しています。



地域の小学生を対象に、英語で考え・英語で発見する「Hatsuritsu Kids」



ホームステイによる国際交流～立命館大学と初芝立命館との連携

社会・地域連携の取り組みとして、立命館大学大阪いばらきキャンパスで学ぶアジア各国からの国際異文化交流留学生に、本校生徒の自宅にホームステイしてもらい、地元界の伝統産業などを紹介しました。堺市には、刃物産業など「ものづくり」の基盤があり、歴史を肌で感じて学ぶに十分な伝統が至る所にあります。生徒にとっても、ものづくりの見学や留学生を案内して町を散策することができ、地域に対する認識と理解を新たにし、地域への愛着を深める貴重な機会となりました。これ以外にも海外から多くの留学生の受け入れができるよう、ホームステイ受け入れ可能な家庭を登録するホームステイバンクの体制を整えています。

また、本年9月より近隣の小学生を対象に、英語で考え、英語で発見する「Hatsuritsu Kids（英語イマージョンレッスン）」をスタートしました。ネイティブの先生と理科社会・算数コンピュータなどのテーマについて英語のみで楽しく勉強してもらっています。参加された方からは「英語が通じた」「次回が楽しみ」などの感想が届いており、今後はさらに多様なレッスンを考えていきたいと思います。

主体的に学ぶ力と確かな学力を育み、グローバル社会の中で、多様な文化・価値観を尊重して夢に向かって協働できる生徒、社会と積極的に関わりながら、独創性をもって未来の社会に貢献できる生徒の育成に努め、次世代を担う地域の子どものために、本校の教育が生かされることを願っています。

## 初芝橋本中学校高等学校

### 地域に学び、社会にはばたく力を育む



教頭 佐本一晃

本校では、授業部活動・学校行事・ボランティアなど様々な場面で地域と連携した活動を行い、「生きる力」を育成することに努めております。

中学校では、障がい者の生活を体験し、正しい支援や地域の福祉のあり方を学ぶ「キヤップハンディ学習」を橋本市社会福祉協議会の協力・指導のもとで毎年行っています。また、今年度は同協議会やボランティアの方の協力を得て、手話と点字を学び、当事者の理解と多様性を受容する意識の涵養を図りました。生徒たちはこれらの体験を通じて、正しい知識を身に付け、地域とともに福祉を考え、地域社会に貢献する意識を高めています。

高等学校ではさらにその意識を高められるよう、生徒たちが実際に地域社会に働きかける機会を持っています。テニス部員が橋本伊都テニス協会の方と合同で休日に地域の小学生にテニスを教える「キッズテニス」や、各運動部員に



橋本伊都テニス協会と合同開催している「キッズテニス」

よる毎朝の学校周辺や駅の清掃など、様々な活動を通じて地域から期待を受ける喜び、応援していただくことへの感謝の気持ちが芽生えています。

また、地域の活動や催しに参加して、地域社会における様々な文化や伝統に親しむ取り組みも積極的に勧められています。一例を挙げると、今年で33回を迎えた「高野山参詣登山」には、保護者会の協力のもと、生徒と教職員が毎年参加しています。九度山町の慈尊院から高野山までの世界遺産「高野山町石道」をみんなで歩くことは、校内では学び得ない生きた体験となつて生徒達の情操を育んでいます。

このように学習や部活動、学校生活全般にわたつて、地域の力を活用させていただき、社会とのつながりを大切に、地域に学び地域を思い感謝する心を育むことによつて、生徒たちは社会にはばたく力と「生きる力」を身に付けています。



運動部員による最寄り駅周辺の早朝清掃。

## 初芝スイミングスクール

### 選手コース結果・体験教室

7月に夏の短期教室を実施し、子ども達のチャレンジのお手伝いと、水泳の楽しさを伝える事ができました。

1ヶ月体験を常時募集しており、より多くの子ども達に参加して頂きたいと思っております。

選手コースでは多くの選手達が、日本選手権・JAPAN OPEN・日本高等学校選手権・JOC全国ジュニアオリンピックカップ・国民体育大会と数々の全国大会で戦って参りました。特に、東京オリンピック強化選手の秦隆太郎選手は、日本高等学校選手権2位、JOC優勝、国民体育大会3位と輝かしい戦績を残しました。

今後もより魅力のある、地域に密着したスイミングスクールとして活躍・活動してまいります。



## はつしば学園幼稚園

### 茶道体験



本園では、裏千家の堺淡交会より講師の先生方をお招きし、茶道の指導を年少児から行っています。礼儀作法や自然を愛する気持ち、感謝の心を学びます。甘いお菓子とお抹茶の苦味に様々な表情で取り組んでいる子どもたち。掛け軸や季節の花だけでなく、先生方の着物にも興味津々な様子で、日本の伝統文化に身近に触れながら取り組んでいます。

年長児になると、堺区にある『さかい利晶の杜』へ茶の湯体験に行きます。本格的な茶室や釜の設えの中で、3年間の茶道指導の成果を発揮する場となっています。



#### 園庭開放

平成29年12月16日(土)  
平成30年 3月 3日(土)

保護者とお子様、一緒に幼稚園へ！  
製作や紙芝居・ダンスなどのお楽しみタイムもあります。

#### ひよこ教室

平成30年 3月 3日(土)

電話予約が必要です。  
詳しくはHPをご覧ください。

<http://www.hatsushiba.ed.jp/kindergarten/>

## 平成29年度 大阪初芝学園 入試スケジュール (詳細は、各校HPをご確認ください。)

初芝立命館中学校	初芝富田林中学校	初芝橋本中学校	はつしば学園小学校
 11月18日(土) プレテスト個別相談会 12月 9日(土) 入試説明会・個別相談会  入学試験日	 11月11日(土) プレテスト個別相談会 11月18日(土) 第3回個別見学会 11月25日(土) 第4回個別見学会 12月16日(土) 第5回個別見学会  入学試験日	 11月4日(土) プレテスト会・入試説明会 12月3日(日) 入試説明会  入学試験日	入学試験日 【2次・転入1次】平成29年11月 4日(土) 【転入2次】平成30年 1月27日(土) 【3次】平成30年 2月 3日(土)
【A日程】平成30年1月13日(土)AM 【B日程】平成30年1月13日(土)PM 【C日程】平成30年1月14日(日)AM 【きらめき入試1】平成30年1月13日(土)AM 【きらめき入試2】平成30年1月27日(土)AM	【1次A】平成30年1月13日(土)AM 【1次B】平成30年1月13日(土)PM 【リテラ】平成30年1月14日(日)AM 【2次】平成30年1月15日(月)PM	【A1日程】平成30年1月13日(土)AM 【A2日程】平成30年1月14日(日)AM 【B日程】平成30年1月16日(火)PM	
初芝立命館高等学校	初芝富田林高等学校	初芝橋本高等学校	
11月 4日(土) 入試説明会・授業体験 12月 2日(土) 入試説明会・入試対策講座 12月23日(土) 学校見学会  入学試験日 平成30年2月10日(土)	 11月 4日(土) 第1回入試説明会 11月18日(土) 第3回個別見学会 11月25日(土) 第4回個別見学会 12月 2日(土) 第2回入試説明会 12月16日(土) 第5回個別見学会  入学試験日 平成30年2月10日(土)	 11月11日(土) 入試説明会 12月 3日(日) 入試説明会  入学試験日 【A日程】平成30年1月27日(土) 【B日程】平成30年2月14日(水)	

今年度から  
インターネット出願  
開始しました。



上記のマークがついた学校で  
対応しております。  
詳細は各校HPをご覧ください。

**24時間 受付可能!!**

**願書取寄せ 不要!!**

**スマホ・タブレット 対応!!**